平成１４年５月１日

報道関係者　各位

社団法人　ビジネス機械･情報システム産業協会

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（会長　御手洗　冨士夫）は、複写機の平成１４年第１四半期出荷実績に関し、下記の通り発表します。

記

１．出荷実績

（単位：台／百万円）

		２００２年１月～２００２年３月（第１四半期）			
		台　数		金　額	
	品種名	出荷実績	前年同期比	出荷実績	前年同期比
国内	アナログ	37,581	70.5%	2,590	47.3%
	デジタル	136,797	104.6%	57,057	93.9%
	カラー	21,533	137.6%	22,308	159.3%
	計	195,911	98.1%	81,955	102.1%
輸出	アナログ	13,293	23.4%	2,730	29.8%
	デジタル	80,355	58.8%	40,220	72.4%
	カラー	13,885	72.6%	12,229	70.9%
	計	107,533	50.6%	55,179	67.3%
合計	アナログ	50,874	46.2%	5,320	36.3%
	デジタル	217,152	81.2%	97,277	83.6%
	カラー	35,418	101.8%	34,537	110.5%
	計	303,444	73.6%	137,134	84.5%

２．コメント

① 各社が海外生産へのシフトを進めたこともあり、アナログ機については輸出の（日本から海外への）落ち込みが大きく、それが複写機全体の実績を下げている。

② デジタル機については､国内は好調を維持してはいるものの､単価は下がる傾向にあり､一方海外は、円安等の影響もあり、金額自体は台数ほど落ちてはいない。カラー機を含めた国内・輸出合計のデジタル化率は、台数で約８３％、金額で約９６％となった。

③ カラー機については､国内は好調であるものの､海外については伸びが鈍ってきており､全体では、対前年同期に比べて台数でほぼ同等、金額では約１０％強の増加となった。

以上

☆本件に関するお問い合わせ：
社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会　複写機・複合機部会　事務局
伊藤　丘、武井　克予
（TEL:03-3503-9821　FAX:03-3591-3646）

平成１４年８月２日

報道関係者　各位

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（会長　樫尾　幸雄）は、複写機の平成１４年第２四半期出荷実績に関し、下記の通り発表します。

記

１．出荷実績

（単位：台／百万円）

		２００２年４月～２００２年６月（第２四半期）			
		台　数		金　額	
	品種名	出荷実績	前年同期比	出荷実績	前年同期比
国内	アナログ	25,371	101.1%	2,301	62.4%
	デジタル	106,943	87.0%	51,191	83.6%
	カラー	23,906	157.4%	23,704	160.6%
	計	156,220	95.7%	77,196	96.9%
輸出	アナログ	14,205	34.1%	2,383	32.4%
	デジタル	73,279	64.1%	32,751	69.2%
	カラー	15,394	95.0%	12,921	76.1%
	計	102,878	59.8%	48,055	67.1%
合計	アナログ	39,576	59.3%	4,684	42.4%
	デジタル	180,222	76.0%	83,942	77.3%
	カラー	39,300	125.2%	36,625	115.4%
	計	259,098	77.3%	125,251	82.8%

２．コメント

① 各社が海外生産へのシフトを進めたこともあり、アナログ機については輸出（日本から海外）の落ち込みが大きく、それが複写機全体の実績を下げている。

② デジタル機についても、ここに来て、アナログ機と同様に、中低速機を中心とした海外生産へのシフトの影響が徐々に出始めたようで、台数と金額ともに低下する傾向にある。カラー機を含めた国内・輸出合計のデジタル化率は、第１四半期とほぼ変わらず、台数で約８５％、金額で約９６％となった。

③ カラー機については、国内の好調さが輸出の落ち込みを救い、全体では対前年同期に比べて台数で約２５％強の増加、金額では約１５％強の増加となった。

以上

☆本件に関するお問い合わせ：
社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会　複写機・複合機部会　事務局
伊藤　丘、武井　克予
（TEL:03-3503-9821　FAX:03-3591-3646）

平成１４年１１月８日

報道関係者　各位

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（会長　樫尾　幸雄）は、複写機の平成１４年第３四半期出荷実績に関し、下記の通り発表します。

記

１．出荷実績

（単位：台／百万円）

		２００２年７月～２００２年９月（第３四半期）			
		台　　数		金　　額	
	品種名	出荷実績	前年同期比	出荷実績	前年同期比
国内	アナログ	27,307	97.9%	1,960	64.2%
	デジタル	107,830	97.2%	43,945	90.7%
	カラー	27,191	193.6%	24,233	190.7%
	計	162,328	106.2%	70,138	109.2%
輸出	アナログ	13,057	29.6%	2,489	37.5%
	デジタル	76,792	72.5%	40,968	91.6%
	カラー	25,511	148.1%	21,335	128.0%
	計	115,360	69.0%	64,792	95.2%
合計	アナログ	40,364	56.1%	4,449	45.9%
	デジタル	184,622	85.2%	84,913	91.1%
	カラー	52,702	168.5%	45,568	155.1%
	計	277,688	86.8%	134,930	102.0%

２．コメント

① 各社の海外生産へのシフトが更に進み、アナログ機については輸出（日本から海外）で前年同期比で３割を切った。デジタル機は約7割にとどまったが、それらが複写機全体の実績を下げている。

② 一方、カラー機については、国内・輸出ともに好調であり、特に国内では台数と金額共に前年同期比の２倍に近い値となっている。合計では対前年同期に比べて台数で約６９％の増加、金額では約５５％の増加となった。

③ 国内については、カラー機の好調に支えられて、台数・金額ともに前年同期比を上回る結果が得られた。また、海外についても、金額としては大きく盛り返している。カラー機を含めた国内・輸出合計のデジタル化率は、第２四半期とほぼ変わらず、台数で約８５％、金額で約９６％となった。

以上

☆本件に関するお問い合わせ：

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会　複写機・複合機部会　事務局
伊藤　丘、武井　克予
（TEL:03-3503-9821　FAX:03-3591-3646）

平成１５年２月６日

報道関係者　各位

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会

社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（会長　樫尾　幸雄）は、複写機の平成１４年第４四半期出荷実績に関し、下記の通り発表します。

記

１．出荷実績

（単位：台／百万円）

		２００２年１０月～２００２年１２月（第４四半期）			
		台　　数		金　　額	
	品種名	出荷実績	前年同期比	出荷実績	前年同期比
国内	アナログ	20,949	77.7%	1,631	63.0%
	デジタル	90,979	90.2%	39,544	88.3%
	カラー	34,812	213.1%	26,509	149.3%
	計	146,740	101.8%	67,684	103.9%
輸出	アナログ	12,110	38.5%	1,942	41.0%
	デジタル	68,286	77.9%	35,689	98.8%
	カラー	30,527	224.7%	24,412	190.3%
	計	110,923	83.6%	62,043	115.6%
合計	アナログ	33,059	56.6%	3,573	48.8%
	デジタル	159,265	84.5%	75,233	93.0%
	カラー	65,339	218.4%	50,921	166.5%
	計	257,663	93.1%	129,727	109.2%

（参考）

（単位：台／百万円）

		２００２年１月～２００２年１２月（年間累計）			
		台　　数		金　　額	
	品種名	出荷実績	前年同期比	出荷実績	前年同期比
国内	アナログ	111,140	83.4%	8,464	57.2%
	デジタル	442,617	95.1%	191,755	89.1%
	カラー	107,431	175.5%	96,748	163.3%
	計	661,188	100.2%	296,967	102.7%
輸出	アナログ	52,665	30.3%	9,544	34.2%
	デジタル	298,712	67.2%	149,628	81.4%
	カラー	85,317	129.0%	70,897	111.3%
	計	436,694	63.8%	230,069	83.6%
合計	アナログ	163,805	53.3%	18,008	42.2%
	デジタル	741,329	81.5%	341,383	85.6%
	カラー	192,748	151.3%	167,645	136.3%
	計	1,097,882	81.7%	527,036	93.3%

２．コメント

・第４四半期について

①　各社の海外生産へのシフトが進んでいるため、アナログ機・デジタル機で、台数・金額ともに落ちている。

②　一方、国内で生産しているカラー機については、国内・輸出出荷ともに好調で、台数は前年同期比では２倍を越え、金額でも大幅な伸びを示した。国内・輸出の合計は対前年同期比、台数で約２１８％、金額で約１６７％の大きな値となった。

③　国内については、カラー機の好調に支えられて、台数・金額ともに前年同期比を上回る結果が得られた。また、輸出についても、台数合計では大きく落ち込んだものの、カラー機の大幅な伸びに支えられ、金額的には前年同期比で約１１６％の値となった。カラー機を含めた国内・輸出合計のデジタル化率は、第３四半期から更に進み、台数で約８７％、金額で約９７％となった。

・通年（累計）について

①　輸出向けのアナログ機は、海外生産分の割合が増加しているため、日本からの輸出台数は前年同期比で約３０％の値まで激減している。デジタル機についても同様な傾向にある。カラー機は、この１年間で国内・輸出ともに激増しており、合計の前年同期比では、台数で１５１％、金額で１３６％の大きな値となった。

②　２００２年は、台数では前年の年間総出荷実績より１８％強の落ち込みとなったものの、高付加価値のカラー機の伸びに支えられて、金額では前年から約７％程度の落ち込みに抑えられた。

☆本件に関するお問い合わせ：
社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会　複写機・複合機部会　事務局
伊藤　丘、武井　克予
（TEL:03-3503-9821　FAX:03-3591-3646）

以上